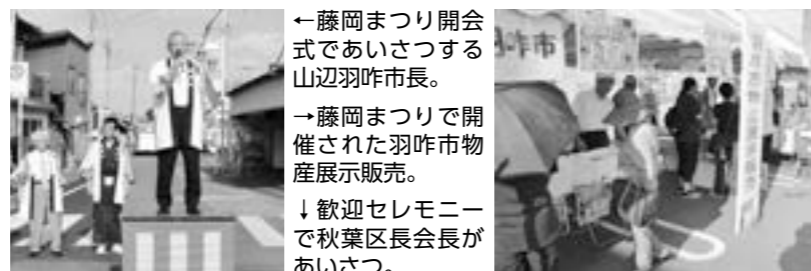




8/14 中 歓迎セレモニーを開催

姉妹都市交流33年目を迎え、さまざまな交流を続けている藤岡市と羽咋市。8月10日の藤岡まつりに羽咋市の山辺市長や羽咋市町会長連合会14人など多数の羽咋市関係者が参加しました。11日には、新井市長や藤岡市区長会53人なども参列する中、藤岡市区長会主催による歓迎セレモニーが高山社情報館で開催され、藤岡中央高校和太鼓部や芦田町八木節保存会の演奏を楽しみました。一行は、セレモニーの後、高山社跡などを見学しました。



←藤岡まつり開会式であいさつする山辺羽咋市長。
→藤岡まつりで開催された羽咋市物産展示販売。
↓歓迎セレモニーで秋葉区長会長があいさつ。



↑藤岡中央高校和太鼓部の演奏

↑芦田町八木節保存会の演奏

竹を使った水鉄砲の勢いにびっくり。



8/14 土 夏の思い出に と火の里公園夏まつり

土と火の里公園夏まつりでは、風鈴の絵付け体験やキラキラ粘土スライム作り、竹・木材を使った水鉄砲などの工作体験の他、大道芸や似顔絵アートなども開催されました。夏休みを利用した親子連れでにぎわいを見せ、夏ならではの季節感あるさまざまな体験をしました。



展示されている埴輪に見入る。

8/3 埴輪の匠の技を学ぶ

藤岡歴史館夏季企画展「^{はにわ}埴輪の匠、藤岡にあらわる」が9月16日まで開催されています。見学者は、市内で発掘された埴輪を作るための窯跡とそこから出土した埴輪について学びました。また埴輪作り体験教室も開催され、参加者23人は楽しく埴輪作りを体験しました。

クラフト作りや工作を楽しむ家族連れでにぎわいました。



8/3 来 家族で工作など楽しむ て・観て・作ろう展

総合学習センターで来て・観て・作ろう展が開催され、多くの家族連れでにぎわいました。このイベントは、市内のボランティア団体や学校などの協働で毎年2回開催されるもので、参加者はクラフト作りや工作を楽しみました。

市内のボランティアがシニアカーを改造して作った実際に運転できるこども専用消防車も登場し、子どもたちの人気を集めました。

ポリ袋を使ってお米を炊く準備をする参加者。



8/2 親子で楽しい料理教室

災害時の調理方法を学ぶ親子料理教室が藤岡公民館で開催されました。教室ではスナック菓子を使ったポテトサラダやポリ袋を利用したカレーライスなどを作りました。子どもたちは慣れない手つきながらも、懸命に調理を行い、完成品をおいしく味わいました。



普段入れない書庫や移動図書館車庫も見て回りました。

7/29 クイズを解いて楽しく本を探そう 図書館夏のイベント

図書館で休館日を利用した夏休みイベント「本の森TosyokanへGo!」が開催されました。木の模型に張り付けられたクイズからクロスワードを完成させたり、本を探して実際に本を貸し出す機械を使ったりと、普段とは違う図書館の楽しさを味わいました。